成長と資本効率の向上に向けた財務戦略

三社電機グループは、中期経営計画「CF26」のもと、事業成長と資本効率の向上を両輪とした財務戦略を推進しています。将来の利益成長につながる成長投資を継続するとともに、「稼ぐ力」の強化による収益性の向上と資本効率を意識した経営を実践し、株主還元とのバランスを図りながら持続的な企業価値の向上を目指しています。

3つの財務方針

当社グループは、「成長投資の拡大」「『稼ぐ力』の強化」「株主還元の充実」を財務戦略の基本方針とし、持続的な企業価値の向上に取り組んでいます。営業活動で創出したキャッシュを、将来の利益成長につながる設備投資や研究開発、人的資本への投資へ重点的に配分するとともに、高付加価値製品の拡販や生産性向上、資産効率の改善を通じて収益力の強化を図っています。投下した有形・無形資産を着実に利益へ結び付けることで、営業利益率と総資産回転率の向上を実現し、資本効率を意識した経営を推進していきます。また、中長期的な成長に必要な投資を継続するとともに、安定した株主還元と健全な財務基盤を維持し、持続的な企業価値の向上を目指します。

３つの財務方針		企業価値向上に向けた取り組み
1 成長投資の拡大 成長機会を取り込み、持続的な成長と企業価値の向上を図る	設備投資	生産能力増強・設備の高度化
	研究開発投資	SiC技術・高効率製品の開発強化、成長領域の製品開発
	人的資本投資	人材育成・技術継承・働きがい向上
2 「稼ぐ力」の強化 高付加価値化と生産性向上を追求し、収益力の持続的な向上を図る	高付加価値化	高付加価値製品・サービスの拡大
	生産性向上	リードタイム短縮　設計標準化・自動化・DXによる効率化
	資産効率向上	在庫・設備・運転資本の最適化
3 株主還元の充実 資本効率の向上と安定的な利益還元により、株主価値の最大化を図る	安定配当の継続	親会社株主に帰属する当期純利益の増加による配当原資の確保
	資本効率の向上	ROEの改善による株主価値の最大化
	財務健全性の維持	健全な財務体質の確保

企業価値向上の実現

営業利益率の改善
高付加価値化と生産性向上による収益性の向上

×

総資産回転率の向上
資産の効率的な活用による資産効率の向上

ROAの向上
営業利益ベースROA10%の実現

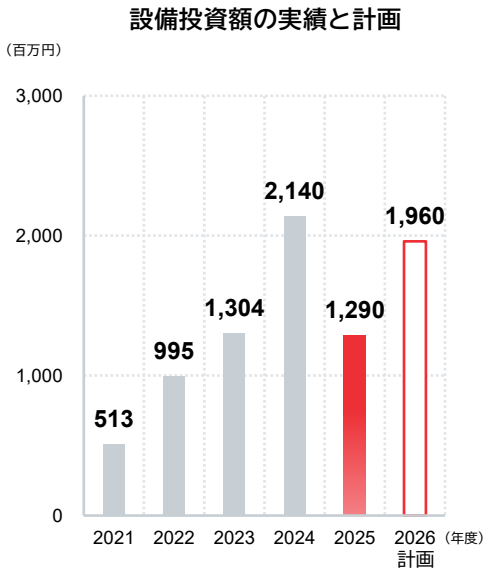
ROEの向上
株主資本コストを上回るROE10%以上の実現

成長投資と資本効率の向上

現在は、中長期の「ありたい姿」の実現に向け、戦略ロードマップを見直し、具体的な活動スケジュールに基づき推進しています。財務戦略では、このロードマップの実現に必要な投資を着実に実行し、「成長」と「稼ぐ力」の向上につなげていきます。また、成長投資の成果を継続的な利益成長へ結び付けることで、資本効率の向上と企業価値の向上を実現することを目指しています。

当社グループは、株主資本コストを上回るROEの実現を重要な経営目標と位置付けています。2023年度のROEは13.0%でしたが、2024年度は販売減少による利益水準の低下や子会社配当方針の見直しによる繰延税金負債の増加などにより2.1%となりました。さらに、2025年度は半導体事業の一部資産や子会社固定資産の減損などにより1.5%まで低下しました。

ROE10%の実現には、営業利益率の改善と総資産回転率の向上を両輪で進めることが重要と認識しています。そのため、現場で実践する経営指標として営業利益ベースのROA10%を掲げ、収益性と資産効率の両面から改善を進めることで、投下した経営資源を着実に利益へ結び付け、持続的に資本コストを上回る企業価値の創出を目指します。





株主還元と持続的な企業価値向上

営業活動で創出したキャッシュは、将来の成長に向けた設備投資や研究開発、人的資本、DXへの投資と株主還元にバランスよく配分する方針です。株主還元については、中期経営計画期間中の3カ年において、「配当性向30%または1株当たり配当金40円のいずれか高い方」を基本方針とし、安定的かつ継続的な利益還元を実施します。

今後も、成長投資と株主還元の好循環を通じて利益成長と資本効率の向上を実現し、持続的な企業価値向上に取り組んでいきます。

